

北海道 小水力 フォーラム 2017

2017年
3月14日(火)
13:00~16:40
[開場 12:30]
入場無料

会場 札幌国際ビル 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 札幌国際ビル8階

定員 120名
(先着順) 事前のお申込みが必要です。
詳細は裏面をご参照ください。

古くて新しい「小水力」の世界を覗いてみませんか？

太陽光、風力、小水力等の再生可能エネルギーは、「地域活性化」の手段としてその利用が注目されています。かつて開拓時代の北海道では、身近な水で電気をつくる「小水力発電」が積極的に導入され、100を超える発電所が稼働していました。

昨年、地球温暖化防止に向けた新たな枠組み「パリ協定」が発効され、国際的には大きな一歩を踏み出しました。エネルギーを取り巻く情勢が転換期を迎える中、北海道では何ができるのか？地域主導の再エネ事業はどのような意味を持つのか？持続可能な安定電源としての小水力発電にはどのような活用方法があるのか？古くて新しい「小水力」の世界を覗いてみませんか。

本フォーラムでは、北海道で小水力発電事業を行うための技術、ファイナンス、合意形成等のノウハウを紹介します。また全道的なネットワークを構築し、小水力発電に関する総合的な支援を行うための基盤整備を目指します。

●プログラム

基調講演

住民主体の小水力発電により
期待される未来

小林 久氏

(茨城大学農学部 地域環境科学科 教授)

情報提供.1

「小水力発電」を活用した
持続可能な地域づくり

上山 隆浩氏

(岡山県西粟倉村 産業観光課 課長)

情報提供.2

地方民間企業の意地
生き残るための水力発電所建設

砂子 真輝氏

(株式会社 アルプス発電 小早月発電所 所長)

情報提供.3

再生可能エネルギーと
ファイナンス

竹ヶ原 啓介氏

(株式会社 日本政策投資銀行 産業調査部 部長)

パネルディスカッション

コーディネーター 鈴木 亨

(北海道再生可能エネルギー振興機構 理事長)